

「地上デジタル放送セミナー in にいがた 2005」アンケート集計結果

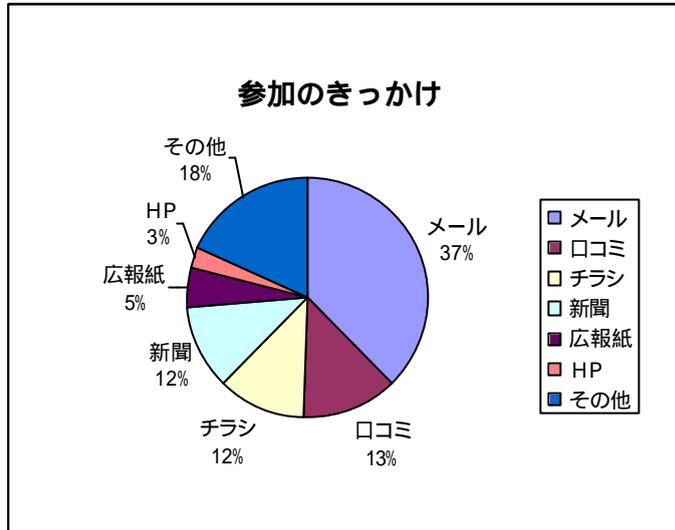
開催日時：平成17年6月10日（金）12：30～16：30

会 場：新潟ユニゾンプラザ

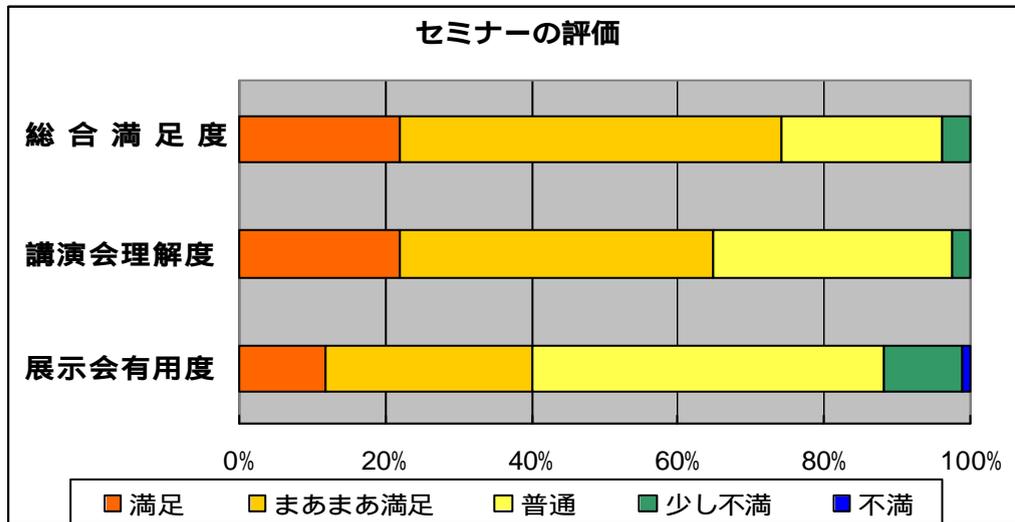
参加者数：272名（行政機関70名、企業・団体168名、個人一般34名）

アンケート回収率：28%（77名）

1. 参加のきっかけについて（セミナーの開催を何で知ったか）

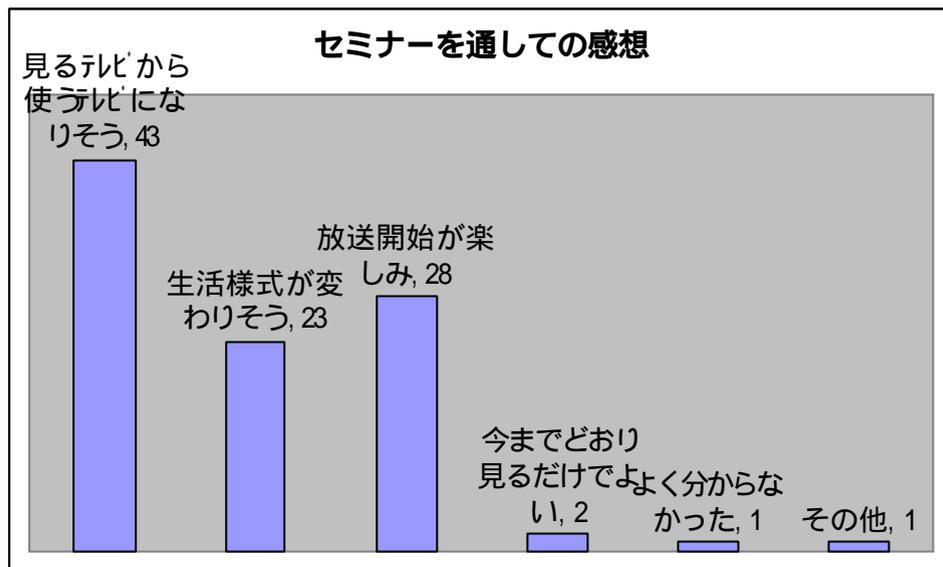


2. セミナーの評価（満足度）について



(1) セミナーを通しての感想〔以下の項目から選択（複数可）〕

- ・見るだけのテレビから使うテレビになっていきそうだ。
- ・今後デジタルテレビによって生活様式そのものが変わっていくと思った。
- ・地上デジタル放送の開始が楽しみだ。
- ・テレビは今までどおり見て楽しいだけでよい。
- ・よく分からなかった。
- ・その他



(2) 日程や会場について〔自由記載〕

- ・ 会場が寒かった。(複数)
- ・ 会場の照明をもう少し明るくしてほしい。
- ・ 椅子が固くて3時間の講演は少しつらかった。
- ・ 空席が見つからず、立って聞いている人がいた。座席誘導係員を配置すべきであると思った。

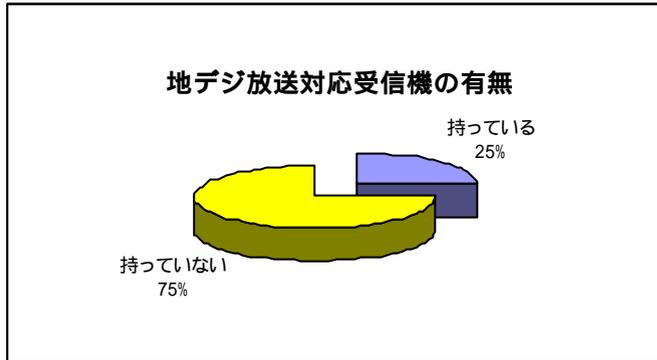
(3) 講師に対する意見・印象に残った言葉など〔自由記載〕

- ・ 第一番目の講演(北川理事長)で地デジの概要が分かってよかった。
- ・ 「ケーテレ」という言葉が印象に残った。
- ・ 放送局の設備投資が大変であると感じた。
- ・ データ放送の実証実験例(峯岸部長の講演)からビジネスチャンスとなるテーマ・方向性を見いだすことができた。
- ・ データ放送に係る説明が印象に残った。
- ・ デジタルの技術、可能性に驚いた。
- ・ 横山社長の情熱的な話に感動した。(複数)
- ・ 「ニュースこそハイビジョン!」という言葉が印象に残った。
- ・ 北日本放送の取組姿勢に感銘を受けた。(複数)
- ・ 全般的に少し難しい内容だった。
- ・ 専門的な表現が多く、分かりにくい点があった。
- ・ スライドの内容が細かくよく見えない部分があった。
- ・ 話の展開が少し早いと感じた。
- ・ デジタル化に伴う設備面等の問題点などについて詳しく聞きたかった。
- ・ 放送局にとってのメリットは何かについて考えさせられた。
- ・ ビジュアルなセミナーで楽しかった。
- ・ ハイビジョンの美しさを実感できて良かった。(複数)
- ・ 地デジ放送は楽しみであるが、通信との融合に関して情報保護への不安も感じた。
(テレビを見て使うのは大人だけではないため)
- ・ ハイビジョンテレビがほしくなった。
- ・ 技術の進展によりデジタル放送はあらゆる媒体で広がりを見せると思う。今後は放送局による視聴者の視点に立った番組改革が必要。BSを含めた活性化を望む。

(4) イベントホールでの展示内容についての感想〔自由記載〕

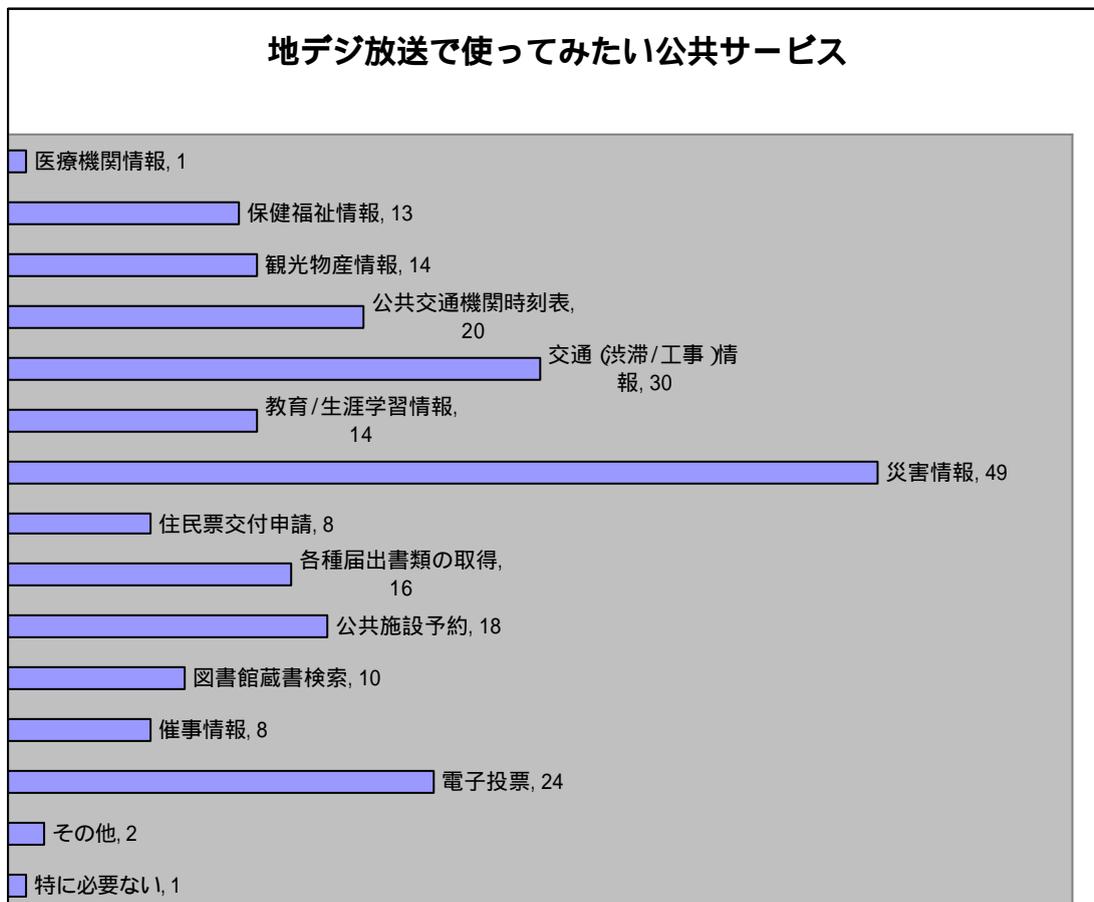
- ・ 携帯電話向け放送のデモが興味深かった。(複数)
- ・ 高画質・高音質・5.1サラウンドを楽しみたいと思った。(複数)
- ・ 岐阜の実証実験のデモが参考になった。
- ・ さらに多くの人への周知・広報が必要と感じた。
- ・ 技術的な内容について紹介してほしい。
- ・ デジタルの魅力を体験できて良かった。
- ・ 手頃な値段になるよう販売価格の低下を期待する。

3. 地上デジタル放送対応受信機の有無について(受信機を持っているか)



4. デジタル放送で使ってみたい公共サービスについて

(どんなサービスがあったら使ってみたいと思うか)〔各項目から選択(複数可)〕



5. 協議会のセミナーで今後取りあげてほしいテーマ等

- ・ 地デジに関する各ローカル局の対応について
- ・ ラジオのデジタル化について
- ・ ケーブルテレビについて
- ・ 第四世代携帯電話について
- ・ 電波障害の解消方法について
- ・ インターネットビジネスについて

以上